

# 調査の概要



# 調査の概要

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

道政上の重要課題や主要施策に関しての世論調査を実施し、道民の道政に対する意向や意識の的確な把握に努めるとともに、政策形成に反映させることを目的とする。

### (2) 調査項目

- 1) 新型コロナウイルス感染症について
- 2) 犯罪のない安全で安心な地域づくりについて
- 3) 持続可能な開発目標（SDG s）について
- 4) 北海道食品機能性表示制度（ヘルシーDo）について
- 5) 森林・森林づくりに関する意識について

### (3) 調査の方法

- |         |                            |
|---------|----------------------------|
| 1) 調査地域 | 北海道全域                      |
| 2) 調査対象 | 道内に居住する満18歳以上の個人           |
| 3) 標本数  | 1,500 サンプル                 |
| 4) 地点数  | 150 地点                     |
| 5) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法                 |
| 6) 調査方法 | 郵送配付、郵送回収及びw e b（スマホ）による回答 |
| 7) 調査期間 | 令和3年（2021年）9月              |

### (4) 調査実施機関

昇寿チャート株式会社

### (5) 調査回収状況

標本数	1,500
有効回収数（率）	835（55.7%）

## 2 調査回答者の特性

区分	総数	比率
<b>【総数】</b>	835	100.0%
<b>【圏域別】</b>		
道央広域連携地域	522	62.5%
道南連携地域	71	8.5%
道北連携地域	78	9.3%
オホーツク連携地域	51	6.1%
十勝連携地域	61	7.3%
釧路・根室連携地域	46	5.5%
無回答	6	0.7%
<b>【人口規模別】</b>		
札幌市	322	38.6%
人口10万人以上の市	222	26.6%
人口10万人未満の市	134	16.0%
町村	151	18.1%
無回答	6	0.7%
<b>【性別】</b>		
男性	368	44.1%
女性	449	53.8%
回答しない	18	2.2%
<b>【年代別】</b>		
18～29歳	60	7.2%
30～39歳	142	17.0%
40～49歳	232	27.8%
50～59歳	192	23.0%
60～69歳	145	17.4%
70歳以上	59	7.1%
無回答	5	0.6%

区分	総数	比率
<b>【職種別】</b>		
自営業（農林漁業）	14	1.7%
自営業（商工サービス業）	47	5.6%
自由業	47	5.6%
事務職系	257	30.8%
労務職系	221	26.5%
主婦・主夫	135	16.2%
学生	9	1.1%
無職	89	10.7%
無回答	16	1.9%
<b>【市町村居住年数別】</b>		
1年未満	13	1.6%
1～5年未満	52	6.2%
5～10年未満	59	7.1%
10～20年未満	123	14.7%
20年以上	585	70.1%
無回答	3	0.4%

注) 個々の比率（百分率）は、少数第2位を四捨五入した。このため、各区分における比率の合計が100.0%にならない場合がある。

### 3 サンプリング

母集団	道内に居住する満18歳以上の個人
標本数	1,500 サンプル
地点数	150 地点
抽出方法	層化二段無作為抽出法

#### (1) 層化

① 北海道の市町村を、次の6圏域に分類した。

【道 央】 札幌市、★江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、岩見沢市、美唄市、滝川市、砂川市、深川市、長沼町、栗山町、★小樽市、倶知安町、岩内町、余市町、★苫小牧市、室蘭市、登別市、伊達市、白老町、新冠町、新ひだか町

【道 南】 ★函館市、北斗市、七飯町、森町、八雲町、せたな町

【道 北】 ★旭川市、名寄市、東神楽町、美瑛町、上富良野町、留萌市、稚内市、枝幸町

【オホーツク】 ★北見市、網走市、紋別市、美幌町、遠軽町、湧別町

【十 勝】 ★帯広市、音更町、清水町、芽室町、幕別町、浦幌町

【釧路・根室】 ★釧路市、釧路町、厚岸町、根室市、中標津町

注) ★印は、札幌市を除く人口10万人以上の市

② 各圏域については、「札幌市」「人口10万人以上の市」「人口10万人未満の市」「町村部」と人口規模別に分類した。人口規模は、令和3年5月31日時点での住民基本台帳人口により分類した。

#### (2) 標本分配

調査対象が北海道内に居住する満18歳以上の個人であるため、令和3年6月1日時点の選挙人名簿登録者数を推定母集団とし、その大きさにより150の地点数を比例分配した。なお、各母集団は、住民基本台帳を抽出原簿として採用した。

#### (3) 抽出

① 第1次抽出単位となる調査地点（各市町村、条町丁字名別）の抽出

各層に配分した調査の地点数分、調査対象地区を抽出した。抽出に際しては、「住民基本台帳人口」を基に各地点の住民基本台帳人口の累積度数を算出して、各層の総人口に対する累積占有率を算出し、調査地点数分乱数を発生させて、該当する150地区を抽出した。

② 第2次抽出単位となる調査対象者の抽出

対象者の抽出は、地点ごとに抽出間隔を算出し、住民基本台帳から等間隔に10人抽出し、調査標本1,500を抽出した。なお、抽出に当たっては、満18歳以上の個人であることに留意した。

$$\frac{\text{調査地点推定人口総数}}{10} = \text{抽出間隔}$$

(4) 抽出結果

圏域、人口規模ごとの標本数、調査地点数は次のとおりである。

地域	人口規模	住民基本台帳 人口数 (R3. 5. 31 現在)	選挙人名簿 登載者数 (R3. 6. 1 現在)	標本数	地点数
道央広域 連携地域	札幌市	1,949,501	1,684,718	560	56
	人口10万人以上	398,839	346,266	120	12
	人口10万人未満	655,119	571,578	190	19
	町村部	280,886	248,347	80	8
道南 連携地域	人口10万人以上	248,962	220,410	70	7
	人口10万人未満	44,937	38,446	10	1
	町村部	117,804	105,059	40	4
道北 連携地域	人口10万人以上	328,151	286,146	90	9
	人口10万人未満	117,087	103,462	30	3
	町村部	136,115	118,839	40	4
オホーツク 連携地域	人口10万人以上	114,324	99,863	30	3
	人口10万人未満	54,500	48,043	20	2
	町村部	100,108	87,737	30	3
十勝 連携地域	人口10万人以上	164,362	141,806	50	5
	町村部	166,430	143,052	50	5
釧路・根室 連携地域	人口10万人以上	163,473	143,656	50	5
	人口10万人未満	24,179	21,398	10	1
	町村部	104,222	90,012	30	3
合計		5,168,999	4,498,838	1,500	150

#### 4 調査地点一覧

圏域	抽出市町村		抽出地点
道央広域連携地域	空知総合振興局	岩見沢市	北4条西19丁目
			西川町
		美唄市	東6条北4丁目
		滝川市	一の坂町西3丁目
		砂川市	晴見2条北7丁目
		深川市	5条
		長沼町	錦町北1丁目
	栗山町	錦3丁目	
	石狩振興局	札幌市中央区	北20条西15丁目
			北4条西22丁目
			北7条西21丁目
			南12条西23丁目
			南17条西13丁目
			南20条西7丁目
			宮の森4条5丁目
		札幌市北区	あいの里4条6丁目
			北12条西1丁目
			北19条西5丁目
			北25条西8丁目
			北31条西13丁目
			篠路1条5丁目
			新川5条5丁目
		新琴似6条9丁目	
		札幌市東区	北23条東19丁目
			北28条東19丁目
			北33条東9丁目
			北41条東2丁目
			北46条東3丁目
北丘珠5条2丁目			
東雁来13条3丁目			
伏古13条4丁目			
札幌市白石区	川下5条4丁目		
	菊水2条2丁目		
	菊水元町1条1丁目		
	北郷3条5丁目		
	東札幌3条4丁目		

圏域	抽出市町村		抽出地点
道央広域連携地域	石狩振興局	札幌市白石区	米里4条1丁目
		札幌市豊平区	月寒西3条6丁目
			豊平2条2丁目
			豊平8条11丁目
			平岸4条12丁目
			福住3条7丁目
			美園4条1丁目
		札幌市南区	石山3条6丁目
			川沿13条2丁目
			川沿5条4丁目
			藤野3条9丁目
		札幌市西区	琴似2条3丁目
			西野10条9丁目
			二十四軒3条2丁目
			八軒5条西2丁目
			発寒13条3丁目
			宮の沢2条4丁目
		札幌市厚別区	厚別北2条3丁目
			厚別中央1条7丁目
			厚別西1条4丁目
			もみじ台西5丁目
		札幌市手稲区	曙3条3丁目
			稲穂3条2丁目
			新発寒7条10丁目
			手稲本町3条4丁目
		札幌市清田区	美しが丘3条5丁目
			北野7条3丁目
			平岡1条2丁目
		江別市	大麻栄町
			大麻高町
			豊幌美咲町
			野幌屯田町
		千歳市	青葉2丁目
白樺3丁目			
北光6丁目			



圏域	抽出市町村		抽出地点
道央広域連携地域	石狩振興局	恵庭市	恵南
			黄金中央2丁目
		北広島市	大曲末広3丁目
			里見町4丁目
		石狩市	親船東1条1丁目
			花川北6条5丁目
	後志総合振興局	小樽市	石山町
			祝津3丁目
			最上1丁目
		倶知安町	琴平
		岩内町	宮園
	胆振総合振興局	苫小牧市	未広町1丁目
			澄川町4丁目
			青雲町2丁目
			高砂町2丁目
			東開町5丁目
		室蘭市	八丁平5丁目
			本輪西町4丁目
		登別市	柏木町4丁目
		伊達市	梅本町
白老町		竹浦	
日高振興局	新冠町	本町	
	新ひだか町	未広町2丁目	
道南連携地域	渡島総合振興局	函館市	小安町
			神山町
			新川町
			住吉町
			高盛町
			中島町
			松風町
	北斗市	東浜2丁目	
	七飯町	大川9丁目	
	森町	本町	
	八雲町	宮園町	

圏域	抽出市町村		抽出地点	
道南 連携地域	檜山振興局	せたな町	北檜山区豊岡	
道北 連携地域	上川総合振興局	旭川市	秋月 1 条 2 丁目	
			旭岡 2 丁目	
			神楽 7 条 13 丁目	
			神楽岡 15 条 3 丁目	
			神楽岡 4 条 6 丁目	
			神居 8 条 10 丁目	
			川端町 6 条 9 丁目	
			春光 7 条 6 丁目	
			末広 5 条 5 丁目	
	宗谷総合振興局	名寄市	西 7 条北 8 丁目	
			東神楽町	ひじり野北 2 条 4 丁目
			美瑛町	栄町 3 丁目
			上富良野町	宮町 2 丁目
留萌振興局	留萌市	稚内市	若葉台 2 丁目	
		枝幸町	梅ヶ枝町	
オホーツク 連携地域	オホーツク総合振興局	北見市	広明町	
			春光町 4 丁目	
			高砂町	
		網走市	錦町	
		紋別市	北浜町 2 丁目	
		美幌町	三橋南	
		遠軽町	岩見通北 5 丁目	
湧別町	中湧別中町			
十勝 連携地域	十勝総合振興局	帯広市	西 12 条南 12 丁目	
			西 14 条北 8 丁目	
			西 24 条南 1 丁目	
			西 6 条北 2 丁目	
			西 7 条南 16 丁目	
		音更町	柳町	
		清水町	南 9 条 10 丁目	
		芽室町	東 3 条 7 丁目	
		幕別町	札内あかしゃ町	
		浦幌町	寿町	

圏域	抽出市町村		抽出地点
釧路・根室連携地域	釧路総合振興局	釧路市	鳥取大通 8 丁目
			中島町
			浪花町 13 丁目
			星が浦大通 1 丁目
			若松町
	釧路町	別保 7 丁目	
	厚岸町	港町 2 丁目	
	根室振興局	根室市	光洋町 3 丁目
		中標津町	桜ヶ丘 4 丁目

## 5 この報告書の見方

- (1) 回答率（各回答の百分率）は小数第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 設問説明文にて複数の回答を求めているものには、2つ以上の回答を求めているものと、回答数に制限を設けているものがあり、いずれもその百分率の合計は100.0%を超える場合がある。
- (3) この調査は、標本調査であるため、全数調査の結果（真の値）から一定の範囲内で離れていることがある。これを標本誤差といい、層化二段無作為抽出の場合、信頼度95%のとき次の式で算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差  
 N = 母集団数  
 n = 回答者数  
 P = 回答比率

上記の式により、回答者数（n）、及び回答比率（P）ごとに信頼度95%の標本誤差を計算すると、おおよそ次のとおりとなる。

回答比率(P) 回答者数(n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
835	±2.94%	±3.92%	±4.49%	±4.80%	±4.89%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
300	±4.90%	±6.53%	±7.48%	±8.00%	±8.16%
100	±8.49%	±11.31%	±12.96%	±13.86%	±14.14%

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \cong 1$  として算出している。

注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数（n）が835で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差は95%の信頼度で、±4.76%以内（55.24～64.76%）である」とみることができる。

- (4) 圏域別（道央、道南、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室）の該当市町村については、別途「4 調査地点一覧」（P5～P9）に記載している。
- (5) 設問ごとの解説は、回答数の多かった上位3項目を【全体】に記載し、このうち上位2項目について、【圏域別】【人口規模別】【性別】【年代別】【職種別】【居住年数別】の種別による状況を記載した。  
 【職種別】の種別による状況において、「自営業（農林漁業）」、「学生」の回答比率が上位2項目となった場合、回答者数が少なく標本誤差が大きいことから、「自営業（農林漁業）」、「学生」を除外した記述とした。